

治験実施優秀者表彰



Congratulations!

後列左から中村 行宏(第二内科代理出席)、廣岡 昌史(第三内科)、三浦 徳宣(泌尿器科)、宇佐美 知香(産婦人科)
前列左から田中 守(薬剤部)、杉山 隆(病院長)、永井 将弘(臨床研究支援センター長)、松元 隆(産婦人科)

今年度の治験実施優秀者表彰の受賞者は、2021年度に7症例以上を実施した医師上位5名の松元 隆(産婦人科)、宇佐美 知香(産婦人科)、三浦 徳宣(泌尿器科)、廣岡 昌史(第三内科)、濱口 直彦(第二内科)となりました。部門賞においては、通常の業務に加えて、多くの治験業務(治験薬管理、調剤、トレーニング等)や、治験薬保管庫の追加設置等に貢献のあった薬剤部が受賞しました。来年度からは、現行の優秀者表彰の選定基準を見直し、治験内容などを考慮した新たな選定基準で選考を行う予定です。



三浦医師
(泌尿器科)

このたびは、このような名誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。この場をお借りして、臨床研究支援センターの方々、優秀なCRCの方々、外来、病棟のスタッフの方々、そして何よりご参加いただいた患者さんに感謝申し上げます。治験治療にかかわらせていただいて、グローバルで行われている治療開発に、微力ながら加わっていることを大変うれしく思います。泌尿器がん領域でも、近年多くの薬剤が使用できるようになってきましたが、まだまだアンメットニーズのある領域です。治験薬が患者さんの治療選択肢を広げ、そして患者さんの笑顔につながるよう引き続き汗をかかせていただければと思います。今後とも、どうぞよろしくお願いたします。



濱口医師
(第二内科)

この度は大変ありがとうございました。担当CRCの皆様の全面的なサポートのもと表彰いただきましたが、本来ならば臨床研究支援センターの皆様が表彰されるべきものと思います。この場を借りてお礼申し上げます。



8月23日開催 創薬・育薬セミナー(WEB)

東北大学大学院 文学研究科社会学専攻分野の田代 志門先生に、「個人情報保護法改正に伴う研究倫理指針の改正について」という演題でお話をいただきました。今回の倫理指針改正を、診療情報の活用に関わる規制全体の中で捉え直し、現状について解説していただき、当院だけではなく他施設からも多くの参加がありました。e-ラーニングでも公開していますので、興味がある、もう一度聞きたいという方は是非ご活用ください。
※e-ラーニングは愛媛大学の教職員のみ視聴可能です
Modle3.5 Home画面一番下のコースカテゴリーをクリックし、2022年度・教職員向けコース→附属病院→2022-2023第41回創薬・育薬セミナーの順で進んでください。

121名が
オンライン
で参加

個人情報保護法改正に伴う
研究倫理指針の改正について

東北大学大学院文学研究科
社会学専攻分野
田代 志門
2022年08月23日 (水)



参加
しました

用語の説明や指針改正による留意点をわかりやすく解説いただき大変勉強になりました。

医療情報を扱う法律がないため、個人情報保護法の3年ごとの見直しがあるというご説明に得心しました。「個人情報保護法のホームページを見て改正点を確認し、指針の改正点を読みます」というお言葉に、はっとさせられました。3年後にはガイダンスの発出を待つばかりでなく、情報収集し、備えたいと感じました。データマネージャー 宇都宮 里香

学会参加報告

治験四国協議会in香川(WEB)～分散型臨床試験DCTの現状と今後の在り方～ 8月27日開催

参加
しました

シンポジウムに参加する前は、COVID-19の流行により注目されている分散化臨床試験Decentralized Clinical Trial (DCT)について、「最近よく聞くけどDCTって何？患者さんが来院しなくてもいいなんて、どうやってやるの？」程度の知識しかなかった私でしたが、今回、DCTの基本的な考え方や各手法、今後の課題について学びDCTについて具体的に理解を深めることができました。また、DCTがCRCに求めることや在り方についても考える機会となりました。CRC宮脇 和美

臨床薬理学会 中国・四国地方会(WEB)～創発研究のススメ～ 7月2日開催

発表
しました

「新型コロナウイルスに対応する中で見えてきたこと」と題し、データベースロック前のみで制限したオンサイトモニタリングやWebミーティングの状況などを発表しました。四国他大学から、リモートモニタリング、患者の来院に依存しない方法(かかりつけ医と委受託契約、治験薬自宅配送など)、CRCは貸与PCで在宅ワークなどがありました。時代は今、訪問はリモートへ、紙は電子へ、リスクに応じたモニタリング、CRAや被験者の訪問を如何に減らすかです。当センターも、時代に合った体制の見直しが必要です。CRC山内 紀子

NEW 新メンバー紹介



沖田 朝美

初めて治験に携わることとなり、治験コーディネーターの役割の大きさに圧倒され、日々、先輩方から学ばせていただくことばかりです。看護師としてのスキルも発揮しながら、これから少しでも早く仕事を覚えられるよう努めていきたいと思えます。よろしくお願いたします。



沖野 真季

治験業務に携わるのは初めてで、1から学ばせていただいております。治験において、薬剤師としてお役に立つことができれば幸いです。まだまだ分からないこともありませんが、先輩方を頼りにして早く一人前になれるよう努力していきたいと思えます。よろしくお願いたします。



秋山 遥香

CRCとして働き始めたばかりで分からないことも多くありますが、先輩方のようなCRCになれるように頑張ります。また、看護師として患者さんが安心して治験に参加することができるようなサポートができるようになりたいと思っています。よろしくお願いたします。



横田 裕之

2021年11月に愛大病院に入職し、翌年6月より臨床研究支援センターに配属となりました。治験に携わるのは初めてで、色々和不慣れなこともあると思いますが、日々勉強しながら頑張りたいと思えます。どうぞよろしくお願いたします。

センターの分室ができました！

当院では治験の増加に伴い、2019年夏からSMOと契約を結び、EP総合のスタッフ(CRC、事務)が、30件以上の治験のフルサポートと院内CRCの補助業務などに従事しております。2022年1月に臨床研究支援センターの分室が完成し、EP総合スタッフの拠点となっています。



東口自動ドアの手前右側㊟が入口です



中の様子

👍 CRC 推しグッズ

日々仕事に追われるCRCですが、それぞれが工夫しながら自分達の仕事をこなしています。仕事に役に立つグッズや、激務の合間にほっとできる癒しグッズ等のCRCのお薦めを紹介していきます。

何かと直筆で署名をする機会が多いCRC業務。少しでも自分の字をきれいに書きたい、残したいときにお薦めなのがこのボールペンです。書きやすさと、丁度いい細さ(0.5mm)で、美文字に署名できます!(S)



ぺんてる エナージェル
細さは色々選べます

📄 編集後記

今年度からセンターNEWS編集部を一新し、新たなメンバーで作成しました。読み手の方に興味を持ってもらえるよう、真面目に、楽しく、分かり易いことをモットーに作成していきたいと思えます。少しでも多くの方に手に取ってもらい、当センターや、治験について興味を持っていただければ幸いです。編集チーム一同

愛媛大学医学部附属病院 臨床研究支援センター

ご意見・ご要望などをお寄せください

<https://www.m.ehime-u.ac.jp/hospital/clinicalresearch/>

